



発行所:自由民主党京都府参議院選挙区第三支部  
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2  
ハウスドゥ四条ビル601  
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人:二ノ湯 智  
国会事務所  
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館921号室  
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。  
題字: 栢木寛照

# えとす

令和2年 10月号  
No.325

京都の智恵を日本に活かす。  
二ノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

## 臨時国会が召集 菅政権での初めての議会



所信表明演説をする菅首相(参議院本会議場)

### 期待される国民目線に立った政治

10月26日、臨時国会が召集され、衆参両院で菅首相の所信表明演説が行われた。菅首相は総裁選挙に立候補の際、安倍首相の政策を継承すると表明していた。首相となって1ヶ月半が過ぎ、デジタル庁の設置、携帯電話の料金値下げ、不妊治療の保険適用など、菅首相のカラーと言っか、政策の柱が見え始めてきている。初めての公式の場で菅内閣としてどのような骨太な政策を推進するのか注目された。所信の内容は、一般国民に身近な問題を取り上げて、先ずは着実に出来ることから実績を積み上げたいという菅首相の意図が感じられた。いずれにせよ、コロナ禍で日本経済はかなり大きな打撃を受けている。景気回復は喫緊の課題であり、コロナ感染防止もしっかりしなければならぬ。しかも、日本を取り巻く安全保障環境も厳しい。新首相に課せられた責任は重大である。

### 恒心

★新型コロナウイルスが発生し、政府は緊急事態宣言を発し、国民に不要不急の移動の自粛を要請した。4千万人近い外国からの入国も全面的に制限された。外国観光客は対前年度に比較してほとんど

ゼロ%近くに落ち込んでしまった。★経済的影響を受けたのは、各業種に及び、観光はもちろんのこと中小零細企業は、リーマンショック以上の打撃を受け、正直、青息吐息の状態だと言ってもいい。こんなことになるか誰が予想しただろうか。★政府は経済的に厳しい国民に対して、当初、所得制限付きで、30万円の給付を行う予定であった。自民党も了承した案であったが、急遽、それを覆して、所得制限無しで、一律10万円支給することに決定した。★その時点で、住民基本台帳に登録されている住民全てに、マイナンバーと振り込みの銀行口座を記載して、ネット若しくは役所の窓口で申請することにした。日頃から、しっかりとシステムが完備されている役所、それが出来ない役所が明らかになった。★改めて地方自治体のシステムの不完全さが明らかになり、政府が全国一律の標準を示すことになり、国、地方のネットワークを整備しようとなったのは、まさに怪我の功名である。★さて、肝心の一律10万円の給付であるが、漸く99.4%迄達成でき、ほぼ全国民に給付出来た。10万円の多くは消費に回さず、貯金をしている方も多いうである。先日、麻生財務大臣も認めた。国民は漠然と将来に不安を抱いているのが分かる。★そんな時、人事院が国家公務員の年末のボーナスを0.05%下げる勧告を出した。国民の生活が厳しいから、10万円給付したのに、今度はボーナスを平均で2.1万円減額する。公務員も身を切れと言うのは分かるが、少し整合のとれない話である。

### 菅首相 初の所信表明演説 身近で分かりやすい内容

菅首相の所信表明演説の主な内容は次の9つの柱から成り立っている。

#### 一、新型コロナウイルス対策と経済の両立

ワクチンを全ての国民に無料で接種。厳しい経済状況の中で雇用を守り、事業継続のために、持続化給付金や無利子・無担保融資などを継続。GOTOキャンペーンにより、旅行、飲食、演劇やコンサート、商店街でのイベントを支援。

#### 二、デジタル社会の実現とサプライチェーン

保険証とマイナンバーカードの一体化、運転免許証のデジタル化、デジタル庁を設立する。全ての小中学生に、一人1台のIT端末の導入。行政申請への押印は、原則全て廃止する。国内に医療・保健や先端産業の生産体制を整備する。

#### 三、グリーン社会の実現

2050年までに、温室効果ガスの排出をゼロにする。世界のグリーン産業をけん引する。経済と環境の好循環をつくり、再生可能エネルギーを最大限導入し、安全最優先で原子力政策を進め、安定的なエネルギーを供給する。

#### 四、活力ある地方を創る

観光や農業改革で、地方の所得を増やし、活性化し、日本経済を浮上させる。農産品の輸出額を伸ばす。農林水産業改革も進め、地方の成長につなげる。地方の所得を増やし、活性化するため、最低

賃金の全国的な引き上げに取り組み。五、新たな人の流れをつくる

都会から地方への人の流れをつくり、

次なる成長の突破口を開く。海外との人の交流、海外の成長を取り込み、金融人材を受け入れ、アジア、世界の金融センターを目指し、税制、行政サービスの英語対応、在留資格の緩和を進める。

#### 六、安全の社会保障

待機児童の解消を目指し、「子育て安心プラン」を取りまとめ、不妊治療の保険適用を実現する。児童虐待防止の対策を強化し、子供の貧困対策に取り組み。

新たな男女共同参画基本計画を策定し、オンライン診療の恒久化を推進する。

#### 七、東日本大震災からの復興、災害対策

東北の復興なくして、日本の再生なし。被災者の皆さんの心に寄り添い、スピード感を持って、復興・再生に取り組み。国土強靱化に取り組み、災害に屈しない国土づくりを進める。

#### 八、外交・安全保障

拉致被害者の早い帰国実現に力を尽くす。米国、中国、韓国との協力信頼関係を発展させ積極外交を展開する。

#### 九、おわりに

憲法は憲法審査会において、与野党の枠を超えて建設的な議論を行うことを期待する。私の目指す社会像は、先ず、自分でやってみる。そして、家族、地域で互いに助け合う。最後は政府が守る「自助・共助・公助」そして「絆」の社会である。

### 「故中曾根康弘 内閣・自民党合同葬儀 偉大な首相を偲び厳粛に執り行われる

昨年11月29日、101才で亡くなった中曾根康弘元内閣総理大臣の葬儀が東京品川のグランドプリンスホテル新高輪で開催された。本来はもつと早く行うべきであったが、初春からのコロナ感染によって、開催が延期となっていた。

当日は、天皇陛下の名代、秋篠宮皇嗣同妃両殿下はじめ各皇族方、各国外交団、歴代総裁などが参列、かなり人数が制限されて全部で670人、参議院



(写真出典：首相官邸ホームページ)

自民党からは4役を含めて15名。中曾根氏は昭和22年4月、第2回目の総選挙に群馬県から立候補して初当選を果たして以来、20回連続当選、在職

56年7ヶ月の長きにわたった。当選早々から、青年将校として活躍し、その格好良さから、長老松村謙三衆議院議員(富山県選出)から、「緋緘の鎧を着た若武者」と評された。憲法改正、原子力の導入、首相公選論などを訴え、若い有権者に人気の高い政治家であった。弱小派閥に身を置いていたために、変わり身が早く、風見鶏と揶揄されたこともあったが、首相に就任してからは、中

曾根氏の教養、見識が十二分に発揮された。先進国首脳会議に出席しても堂々とした立居振舞は、日本の総理大臣の存在感を大いに高めた。特にアメリカのレーガン大統領が来日した際、中曾根氏は東京日の出町の自らの山荘に大統領夫妻を招き、懇親を深めた。かつての日米関係からは考えられない光景であり、日米の強固な関係、日米は対等であるという印象を国民に与えた。さらに首脳同士の個人的な関係がいかに両

国の友好親善に重要であるかを知らしめた。先に引退した安倍首相もトランプ大統領との個人的な信頼関係を築いたが、中曾根氏の手法を習った感じが強い。さて首相としての業績は、何と云っても、

電電公社、専売公社、国鉄の分割民営化を実現したことである。当時、歴史と伝統ある3公社を民営化するには、相当な抵抗があったのではないかと想像する。よくぞ思い切った成し遂げたものである。京都との関係では、哲学者の故梅原猛猛などの京都学派の強い要望を受けて、日本文化研究のメッカである国際日本文化研究センターを西京区桂坂に設立したことである。文人政治家らしい立派な業績である。

## 参議院予算委員会のお知らせ 二ノ湯参議員が質問

10月26日に臨時国会が召集され、衆参本会議で各党代表の代表質問が行われた。その後、衆議院、参議院で予算委員会が開かれる。参議院は11月5、6日の予定である。自民党からは政策審議会議長の二ノ湯智はじめ、上野通子、中西祐介の3名が質問に立ち、同日ともNHKテレビで中継される。二ノ湯議員の質問はおそらく5日の午後になると思われる。二ノ湯議員は次のような問題について政府の見解を質す予定である。

- ① 新型コロナウイルスとのこれまでの闘い、② 新型コロナウイルス開発・確保③ 新型コロナウイルス接種の計画や体制整備④ 持続化給付金や持続化補助金の給付方策⑤ 5Gネットワークの整備の促進⑥ 新たな生活様式下におけるハンコ廃止の趣旨⑦ 国民に開かれた学術会議の在り方⑧ 大阪都構想の住民投票の評価⑨ あるべき国と地方の在り方⑩ 地方議会からの意見書の国での取り扱い⑪ 文化を活用した日本の再生⑫ 米国大統領との信頼関係⑬ 大和堆周辺での中国船の違法操業取り締まり能力の向上⑭ 海上保安庁の強化と体制変更⑮ 国勢調査の回収状況⑯ 拉致問題解決への総理の決意⑰ 東京1極集中の打破と省庁移転⑱ 分散型社会の形成と地方国立大学の定員増と大学のキャンパス移転⑲ 地方消滅の防止と地方創生

## 参議院政策審議会 4つのテーマで勉強会を開催

参議院政策審議会では検討するテーマを何にするか、数回にわたって正副会長会議で議論をかさねた。その結果、新型コロナウイルス感染症拡大により明らかになった、わが国の将来を左右する重要課題を4つのテーマに絞りこんだ。4つの各テーマに責任者を置き、参議院らしい視点から、検討、議論を進めていくことになった。勉強の成果を政府に提言、予想される経済対策、第3次補正予算、さらに国の政策に反映させるようにしたいと正副会長が意気込んでいる諸課題は次の4つである。( )内は責任者

### 1、分散型社会、地方創生(高階恵美子、堂故茂、石井正広)

東京からの人口流出などの分散型社会の構築、各人が自主自律型のライフデザインを持った社会の形成

### 2、デジタル(大家敏志、山田太郎)

デジタル環境の早期構築と地域間格差の克服、諸外国のデジタル化の状況等を踏まえたわが国のデジタル活用策の推進、デジタル人材の育成

### 3、安全保障(磯崎仁彦、古賀友一郎)

米中貿易競争の激化やコロナ禍等の下でのわが国の安全保障(国防、経済、農業、エネルギーなど)

### 4、財政(西田昌司、三木亨)

世界各国での財政出動拡大と国債発行

## 国民と同じ目線に立つ

### ふるさと対話集会 舞鶴で多くの議員が参加

自民党が政権を失い、野党になった時、当時の谷垣総裁の提唱で、全国の間々まで足を運び、地域の人々の悩み、苦しみを聴き、立党の精神に立ち返る「ふるさと対話集会」が開かれることになった。小規模だが、参加者の声をじっくり聴くことが出来、有意義な集会である。

10月24日、舞鶴市林業センターで開いた。地元選出の池田正義府会議員が中心になって、舞鶴市会議員に呼びかけた。国会からは二ノ湯参議院議員と5区選出の本田太郎衆議院議員。舞鶴市は市の基幹産業である造船会社、マリン・ユナイテッド

が、舞鶴市からの撤退を表明し、市長はじめ経済界には危機意識が強い。海上自衛隊の基地の町だけに防衛問題に関する発言が多かった。日常生活に密着したような質問、要望は少なかった。出席者の主な意見は次のような内容である。

- ★ 港湾道路の整備をして渋滞を緩和してほしい。
- ★ 大和堆、尖閣諸島に対して現場の海上保安官だけでは厳しい。
- ★ イージスアショアをやめてイージス艦を増強することだが、現状の人員不足をどのように考えているのか。
- ★ 大阪都構想についてど

のように考えているのか。★ 水害対策の宅地高上げに、国の補助をしてほしい。★ 給付金等の行政申請が分りにくい。★ コロナ禍で頑張っている医療従事者にもっと手厚い保護をしてほしい。★ 助産手当だけではなく産んでからの保護も必要だ。



舞鶴市の参加者と

## 二ノ湯議員の新しい役職

臨時国会の召集に伴い参議院自民党、参議院常任委員会、特別委員会、調査会の新しい人事が行われ、二ノ湯議員の役職は次のように決まった。

参議院自民党政策審議会議長、参議院自民党人事審査委員長、総務委員会委員、懲罰委員会委員、政治倫理・選挙制度に関する特別委員会委員、国際経済・外交に関する調査会委員

# 文化立国 日本の戦略

本年1月1日のわが国の人口は1億2400万人余りとなり、昨年と比較して過去最大の50万人を超える減少となった。6年後には1億2千万人を切り、28年後には1億人を下回ると予測されている。いよいよ本格的な人口減少時代の到来である。長期的に見れば人口減少に伴う国内経済の縮小は避けられず、経済の活力を維持することは至難の技であり、人口減少はわが国最大の課題と言っている。

少子化対策や経済成長戦略はもろろん不可欠であるが、その上で私が主張したいのが『文化立国・日本』の戦略である。どういう意味か。

アメリカや中国、インドといった国々は一国だけで十分な規模を備えている。しかし例えば、イギリスは人口6千万人程度の中規模国家であるが、英語圏やかつての植民地といったいわば『イギリス文化圏』と捉えればオーストラリアやインドなど広大な人口と範囲に及ぶ。欧州も一つ一つの国を見れば大国はないが、『EU』という塊で見れば人口4億5千万人、経済規模は中国と並ぶ。しかし、『日本文化圏』は文字通り日本一国に閉じており、経済の観点からも今後の成長は見込めない。特にわが国のサービス業は完全に国

内志向であり、言葉や文化の壁を超えて海外で勝負できていない。だからこそわが国も、国家の枠を超えた『日本文化圏』を形成すべきでないか、というのが私の『文化立国』の要旨である。

東アジアでは有史以前から人々の交流や混血が繰り返され、古代には仏教という同じ文化的影響を受けている。また中世でもシャムやバタビアといったアジア中に日本町が形成されるなど『共通文化圏』となり得る素地は十分にある。近代に入って戦争や植民地支配といった不幸な歴史があり、また近年は中国の覇権主義が各国の反発を生んでいるが、日本にとっての一番重要な国家戦略は、明治期に岡倉天心が主張していたように軍事力や経済力ではなく文化によってこの『東方文化圏』を緩やかにネットワークしていくことであろう。

アジアの増えゆく人口、伸びゆく所得を日本の経済成長に取り込み、共通の文化的下地を生かした存在感を高めていくことは今後数百年にわたる日本の生命線である。『国民国家としての日本』だけでなく、『文化圏としての日本』というより大きな視点を持てれば、将来への閉塞感から解放されて、わが国の新たな地平を切り拓けるのではないだろうか。

桜美林大学客員教授

## 一之湯 武史

# 身辺雑記

一、常に話題を振りまくトランプアメリカ大統領。コロナなどどこ吹く風といった感じであったが、コロナに感染してしまった。それが僅か3日間で退院したのには驚いた。医師の適切な判断なのか、それとも自らの意志なのか。

一、痛ましい池袋の交通事故は記憶に新しい。事故の裁判が始まった。89才の元経産省OBは、ブレーキが利かなかったと車の不具合のせいにして、自分は無罪だと主張した。自分が悪かった、申し訳ないとなぜ一言言えないのか。

一、コロナ禍によって大きな停滞をもたらした日本経済の回復のため、政府はGOTOトラベル、GOTOイート等各种の景気刺激策を打っている。その制度を悪用して、金儲けをしようとする者が出てくる。情けない話である。

一、滋賀県湖南市長に栢木進氏が現職を破り初当選した。「えとす」の題字を書いてもらっている寛照先生の弟である。どこの自治体も少子高齢化によって、財政難で運営が厳しい。蛮勇を振るって市民の為に、頑張るって貰いたい。

一、年1度の健康診断は、おおむね健康状態を維持していることが分かった。ただ、少し血圧が高いと言うことで注意を受けた。そこで、日常の散歩に加えて、プールへ行くことにした。30年ぶりの水泳への挑戦である。

## 「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会

年会費 1口1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所 ☎075-315-2228

## 新春招福バスツアー 第34回 伊勢神宮初詣

### 感染防止に細心の注意を払って実施

コロナ禍で人の移動が制限され、そのため、経済の落ち込みが激しくなっています。それでも最近、ようやくコロナも峠を越した感じがします。政府もGoToトラベル、イート、イベントの企画で経済回復を試みています。この企画を利用して、恒例の伊勢神宮初詣を来年も実施することに踏み切りました。バスはゆったり、食事は戸田家、会費は据え置きと、かなりお得な内容です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

◇旅行日 令和3年1月11日(月・祝) ◇昼食場所 戸田家

◇会費 10,000円

◇申込先 初詣実行委員会(二ノ湯さとし事務所内) TEL(075)315-2228

◇申込先 またはアサカ観光社

TEL(075)821-0650

初詣実行委員会